

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@kouhei.org

医療のアネハ問題?

皆さん、明けましておめでとうございます。足かけ五年目に入りました耕平さんかわら版。今年もどうぞよろしくお願ひ致します。

さて、通常国会が始まりました。今国会の最大のテーマは医療制度改革・・・だったはずですが、昨年末に発覚したマンションやホテルの構造設計書の偽装問題で、医療制度改革も存在感が薄くなっていきます。でも、このアネハ(姉齒)問題が医療制度改革にも通じる視点を提供してくれています。

先月号でもお伝えしましたが、今の時代、だんだんと「官」と「民」の区別が曖昧になってきています。「官」であっても、非効率な仕事振りが許されることなく、税金や社会保険料をムダ遣いしないように努めなくてはなりません。一方、「民」も、「民」であれば何をしてよいということはありません。「民」であっても、公共性、公益性を求め

られる仕事はたくさんあります。・・・と言うよりも、公共性、公益性を伴わない仕事はひとつもないと言っても過言ではありません。

生まれながらにして公務員、つまり「官」である人は誰もいません。生まれた時には、みんな「民」、つまり民間人です。就職する時に、公務員を目指す人も入れれば、企業やNPOやその他さまざまな組織の一員を目指す人もいます。その所属する組織によって、求められる効率性、公共性、公益性の程度が異なるだけです。

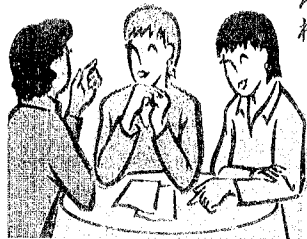
医療という分野は、「官」でしようか、「民」でしようか。おそらく、どちらにも当てはまらず、「公」という字がもつともピッタリくるのではないでしようか。

「公」の分野の仕事ですが、民間病院や民間人としてのお医者さんが担うこともあれば、公立病院やそこに務める公務員としての勤務医が担うこともあります。

アネハ問題も同じです。構造設計、建築確認は、仕事としては「公」の側面が強い分野です。それを民間人、公務員のどちらが担おうとも、果たさなければならぬ社会的責任、守らなければならぬ社会的責任、公益性があるのです。

今回の医療制度改革、たとえそれがどのような内容であれ、医療という分野で、果たさなければならぬ社会的責任、守らなければならぬ社会的責任、公益性は何かということとをシッカリと議論することが必要です。

小泉さん、前原さんの党首討論ではそういう深い議論を期待したいものです。アネハさんと三人で議論してもらおうと、けっこう盛り上がるかもしれないですね。



覚王山ぞぞコナ

(タイトル文字は喜家・山内美風さん<TEL:782-1356>の作品)

覚王山近辺の名店を続々紹介します!

<今回は、「Balloon Shop BAP」さんです>

今回で紹介するのは、バルーン専門店の「BAP」さんです。BAPさんは、広小路通り北側、覚王山西交差点より少し池下方向に進んだところにあります。

お店に一步足を踏み入ると、様々な色、形、素材のバルーンが迎えてくれます。皆様おそらく、「ああ、バルーンってこんなに奥が深いのか」と、幻想的な雰囲気魅了されることでしょう。

BAPさんでは、お客様のご希望に沿うような、様々なシーンに合せたバルーンをご提供されているほか、ご自分でバルーンアートを手がけたい方向けのバルーン・アート・スクールも開設しているのです。

老若男女を問わず親しまれるバルーン、バレンタインほか様々なプレゼントに、そして行事やお店のデコレーションに最適です。皆様もどうぞBAPさんを訪れ、イメージを「膨らませて」みて下さい!

Balloon Shop BAP : 052-757-5281

